

第3回 西脇市障害者地域支援会議（運営会議） 記録

平成25年11月26日（火）15:30～17:00
西脇市総合福祉センター 集会室

当日までに、「事業所での課題」「事業所での取り組み」「運営会議への期待」について意見を書いてきてもらい、2グループに分かれて意見交換し、出された内容について関連する意見をまとめた。

1 グループ

連 携

事業所での取り組み

- ・職員会議などで話し合う（状態など情報を共有する）
- ・相談支援員さんに相談をもちかける
- ・北播磨支援学校や西脇市役所（福祉課）との意見、調整を行う
- ・特別支援学校の進路の先生にお願いする

運営会議への期待

- ・病院のケースカンファレンスに参加
- ・家族介護を支える制度の充実
- ・実習可能受け入れ事業所、事業所の空き情報
- ・解決策はないと思うので色々な方法を試してみたい
- ・どんな工夫をされているか知りたい
- ・他の施設での工夫の仕方など意見を聞いて勉強したい
- ・いろんな事業所との連携をとりながら、利用者さんの助けになるような組織作り

現 状

事業所の課題

- ・精神疾患を持ち病院で治療、在宅へ移行するケースが増えている
- ・利用者の数が少ない
- ・生徒の急増→校内実習材料の確保、現場実習場所の確保、進路先の確保

地域のつながり

事業所の課題

- ・居住地域との関係の希薄

- ・地域のセンター的機能、校区内幼稚園保育園小中高からの相談依頼の増加

事業所での取り組み

- ・知人等にお願い
- ・知名度をあげるため自主制作品の販売を広げる。神戸ファッションウィークのリメイク品を作るなど新聞に載せてもらった
- ・校内実習材料提供事業所。独自開拓、実習受け入れ事業所、進路先の開拓
- ・地域関係機関との日頃からの丁寧な情報提供、情報交換

運営会議への期待

- ・地域資源マップ作成と各事業所機関との連携に横の繋がりを大切にして、1人の障害者のケースや課題解決に向けて行う会議、支援学校を卒業してからの援助、支援をどう考えるか？
- ・横の繋がりの中で個人情報の取り扱いについてもどこまで家族支援を事業所として行えるか？
- ・学校への率直な意見、要望、アドバイス、夏の開かれた学校になる為の提案

高齢化

事業所の課題

- ・利用者の年齢が高くなってきている。若い子もいる
- ・保護者の高齢化
- ・両親が亡くなった場合の行き場（障害のある子どもがおられる方もいる）
- ・ご家族の高齢化（退所される原因）
- ・利用者の体力の衰えが気になる

運営会議への期待

- ・ご本人の高齢化（本人が元気であっても年齢で区切ると退所になる。環境の変化に対応しにくいことも考えられる）。利用者が高齢になっても元気があるなら年齢で区切らずに本人の状態判断してほしい

医療・在宅支援

事業所の課題

- ・薬の服薬がきちんとできていない

事業所での取り組み

- ・呼吸器をつけた乳児の在宅療養が増えている。重症児の一時預かりをしている。養護するところが市内に少ない

居場所

事業所の課題

- ・放課後、下校後の居場所の不足
- ・事業所の定員がすぐにいっぱいになる
- ・土・日の過ごし方について時間の過ごし方がわからない
- ・長期休業中の居場所の問題

活動場所

事業所の課題

- ・重度の障害の方が多く、全体で外出する時に介助する者が足りない
- ・夏休み中の実習の在り方、希望者の増加
- ・お互いの声や動きが気になる（大部屋でグループに分かれて仕事をしている）
- ・高等養護学校になると受け入れができなくなる
- ・障害の特性の違いで場所の設定が問題。狭くなってきている
- ・精神障害者の利用が多いなかでの知的障害者への対応
- ・事業所自体が手狭なので希望されている利用者全員を受け入れられない。現在 5 名

事業所での取り組み

- ・特にこだわりの強い方は個室で仕事をしている
- ・それぞれの方の思いを聞く

2 グループ

物理的（場所、時間、数等）な課題

事業所の課題

- ・利用施設の選択肢がない
- ・作業スペース、道具の確保
- ・参加したい人みんなが集まれる時間を設定するのが難しい
- ・特別支援クラスに入る児童の数が増えているので担任がフォローしきれていない（連絡帳の内容が薄い）
- ・自分が会社をしんどくて休むと代わりをしてくれる人がいないので、新しい人に少しでも多く仕事を覚えてほしい

障害種別、年齢など個人に関する課題

事業所の課題

- ・障害種別による支援の違い、難しさ
- ・障害特性に応じた適切な仕事の提供
- ・子どもの障害に違いがあるので参加者全員で話をしても合わないと感じる人がいる（グループ分けをして交流することを検討したい）
- ・学校などで問題解決のために話す内容がどうしても個人的なことなので、個人情報の問題が生じやすい
- ・会社で社会保険料を払うと障害年金がもらえなくなるんじゃないかと心配です
- ・医師の診断書の書き方しだいで障害年金が降りるかどうか決まるそうだが、薬をのんでいるから状態がいいのであって病気が治っているとは言えない。そのへんを考えて医者も診断書を書いてもらいたい
- ・本人、親の高齢化→家族支援が困難に

事業所での取組み

- ・本人の働きたいということへの意識
- ・親元をはなれて生活できるよう訓練を重ねているが…

情報交換、共有

事業所の課題

- ・中学校卒業後の進路についての情報があまり把握できていない。担当者（学校）と福祉関係者の連携が以前よりはとれていると思うが、まだまだ他の機関の情報が少なく、担当者の中で啓発していく必要がある

- ・学校との連絡がとりにくい

事業所での取組み

- ・日々の振り返りやケース会議
- ・中期計画の作成
- ・職場開拓や情報収集
- ・できるだけ多くの情報を得て様々な問題（課題）解決等につなげられるようにするために、会議や行事に参加し、必要な機関に適切な情報を伝えたい
- ・卒業生と連絡をとり、卒業後の将来も見据えた支援ができるよう日々実践していく
- ・ブログやメールを活用している

運営会議への期待

- ・空き家、不要な道具類等の情報がほしい
- ・関係機関と情報共有することで、利用者支援においてスムーズに連携することができる
- ・他の事業所の活動や課題について教えてもらい、市全体の動向を知る

この会に期待すること、必要だと思うこと

- ・協力できることはお互いに気持ちよく助け合えるようにしたい
- ・より生きやすい環境を作っていきたい
- ・地域での生活が普通に続けていけるよう支援を期待します
- ・少しでも障害者が社会に認められればいいなと思います
- ・障害を持つ子どもとその親と本人が困っていることを知ってもらいたい
- ・いろいろな人がいることを知ってもらうことが大切だと感じている
- ・変えられる制度（例えばタクシーチケット）は変えていきたい
- ・新しい施設、サービスができることに期待
- ・就学中と卒業後の支援体制についての検討が必要